

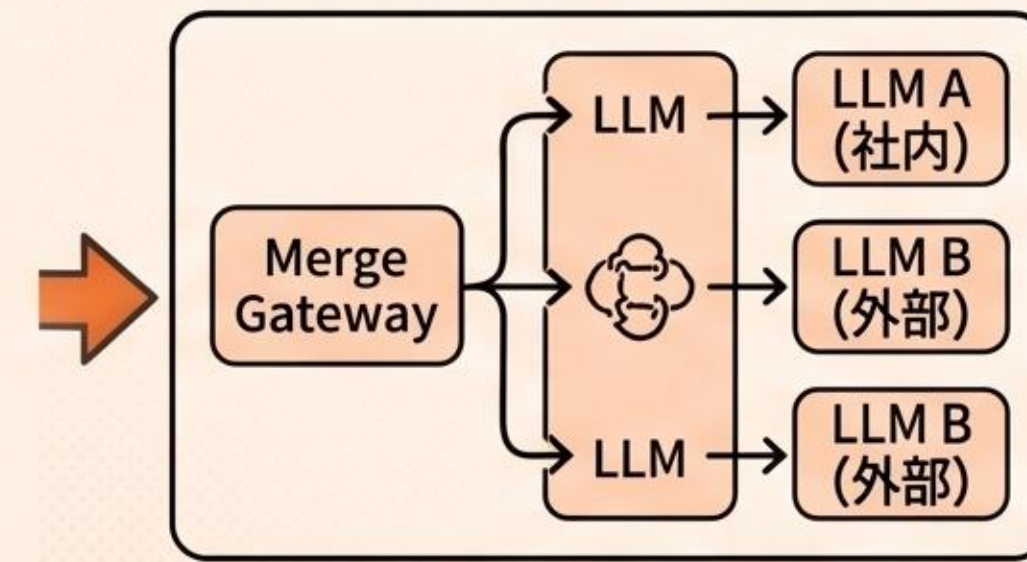
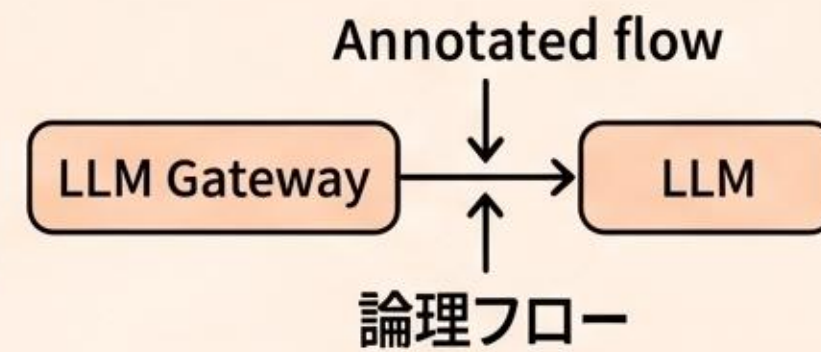


## 今朝のテックニュース・モーニング・ディスパッチ

キーメッセージ、8トピックを整理。

### 1. Merge Gateway : LLMルーティングを自社ロジックで制御

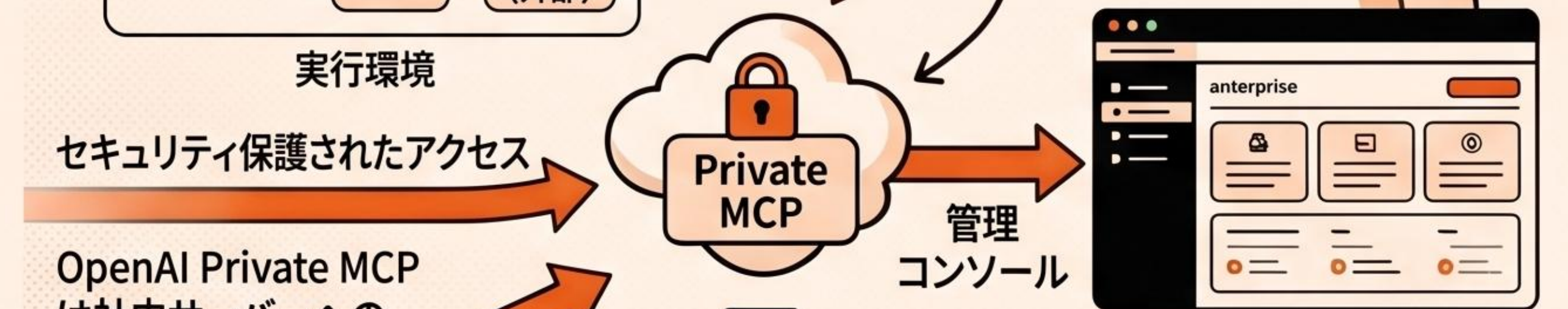
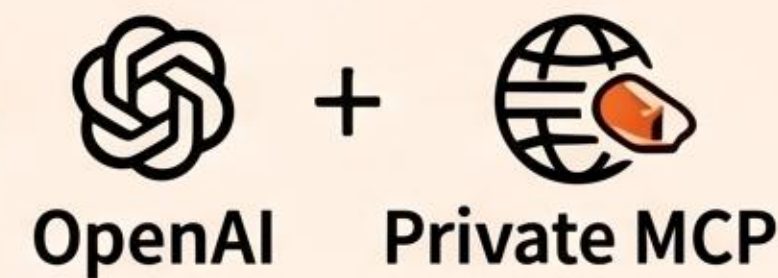
Merge Gateway は LLMルーティングを自社ロジックで制御。LLMルーティングを制御できる自社ロジックのロジックアーキテクチャを整理する。  
Source: OpenAI official. (antomatent)



実行環境

### 2. OpenAI : Private MCP と enterprise 管理機能を拡張

OpenAI は社内サーバー (Private MCP) と enterprise 管理機能を拡張。管理ツールから管理機能を強化し、ユーザーとネットワークを統合。  
Source: OpenAI official. (antomatent)



### 3. OpenAI / Thrive : Codex で自己改善する Tax AI を構築

OpenAI と Thrive は Codex を用いて自己改善する Tax AI を構築。税務処理を Codex で自己改善ループに組み込み、税務規制・税務処理のシームレスな AI 処理環境を構築。  
Source: OpenAI (dfa, Thrive)



8 トピックを整理。

## 🔍 何が起きた？

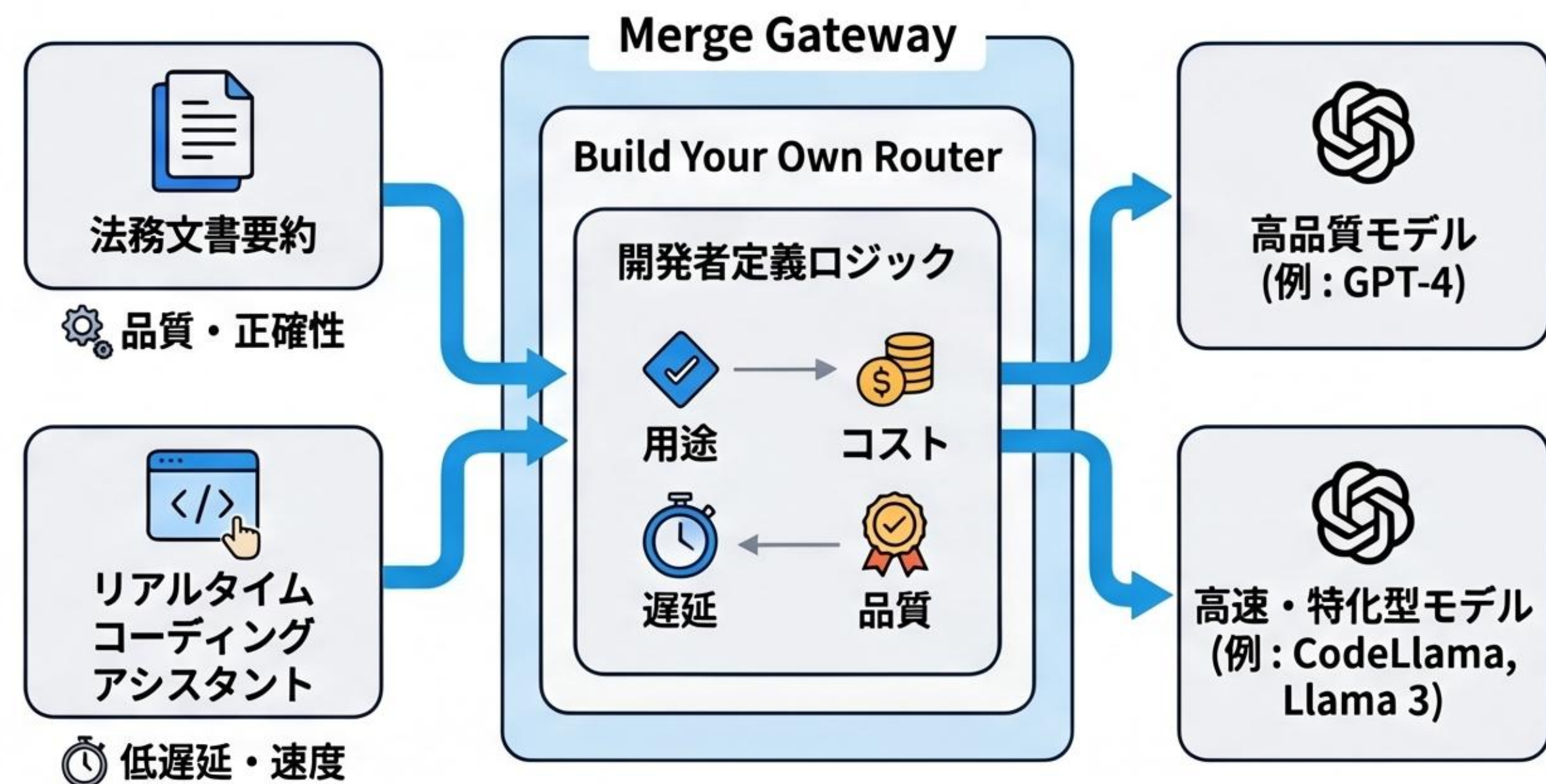
Merge が発表する “Build Your Own Router” for Merge Gateway。開発者が、自社の要件に応じて LLM を定義のロジックで制御できるようにする機能を発表する。

## 📌 主な変更点

- 開発者がモデル選択や経路選択のロジックを直接制御可能に
- 用途・コスト・遅延・品質の要件に合わせて LLM を柔軟に切り替える設計
- Coding assistant や agentic workflow の複数モデル化に伴う router / gateway の重要性向上

## 💡 なぜ重要？

Merge Gateway と、多様な生成 AI コントロールプレーン。コーディング assistants の複数のスプリント管理はルーターを避ければ重い操作が必要なため、ボトルネックの化を防ぐ。



## 2046 likes / 477 reposts

Shensi Ding の投稿が拡散、複数スプリント経た coding assistant 運用で router の必要性が高まっている文脈で反応。



## 🔍 何が起きた？

OpenAI Developers は、Private MCP servers、Workload Identity Federation、Admin API 拡張を同日に案内。Secure MCP Tunnel により private network / on-premises / developer machine 上の MCP server を公開インタに出さずに OpenAI products と接続可能になる

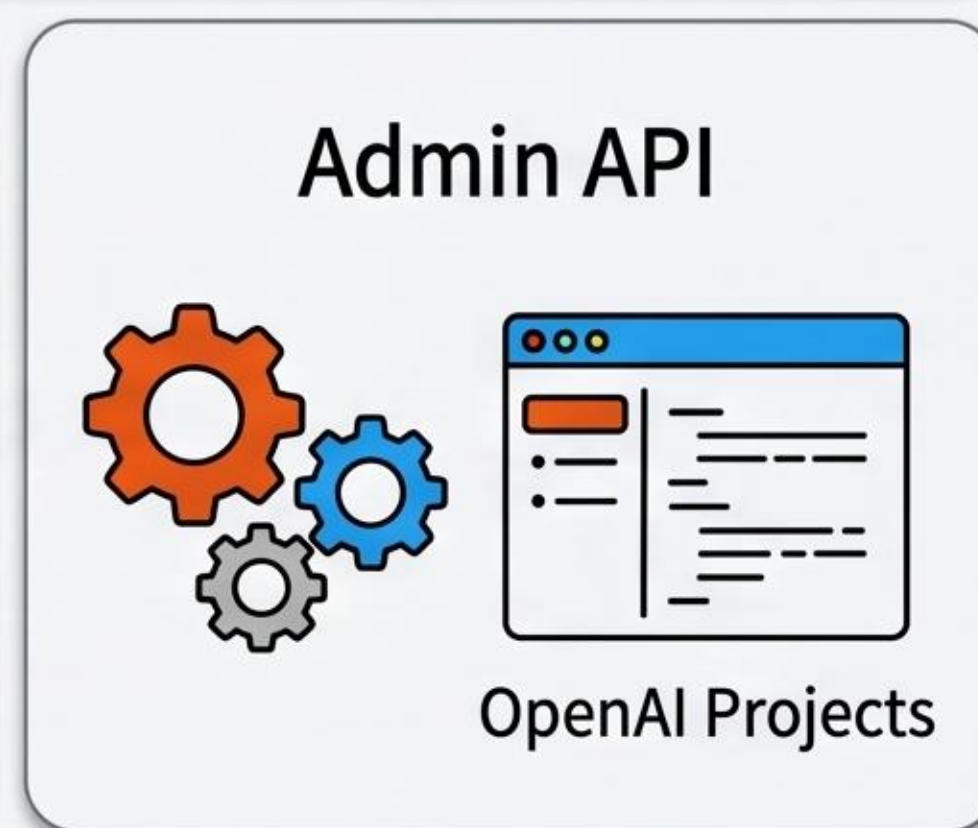
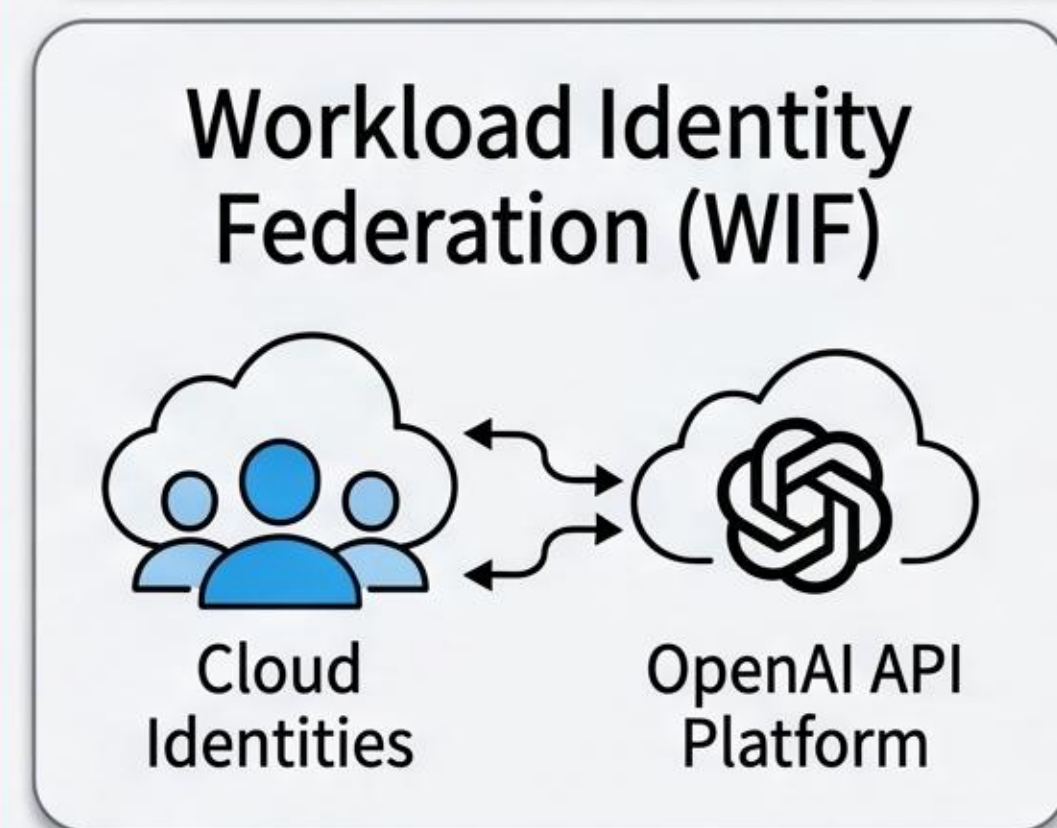
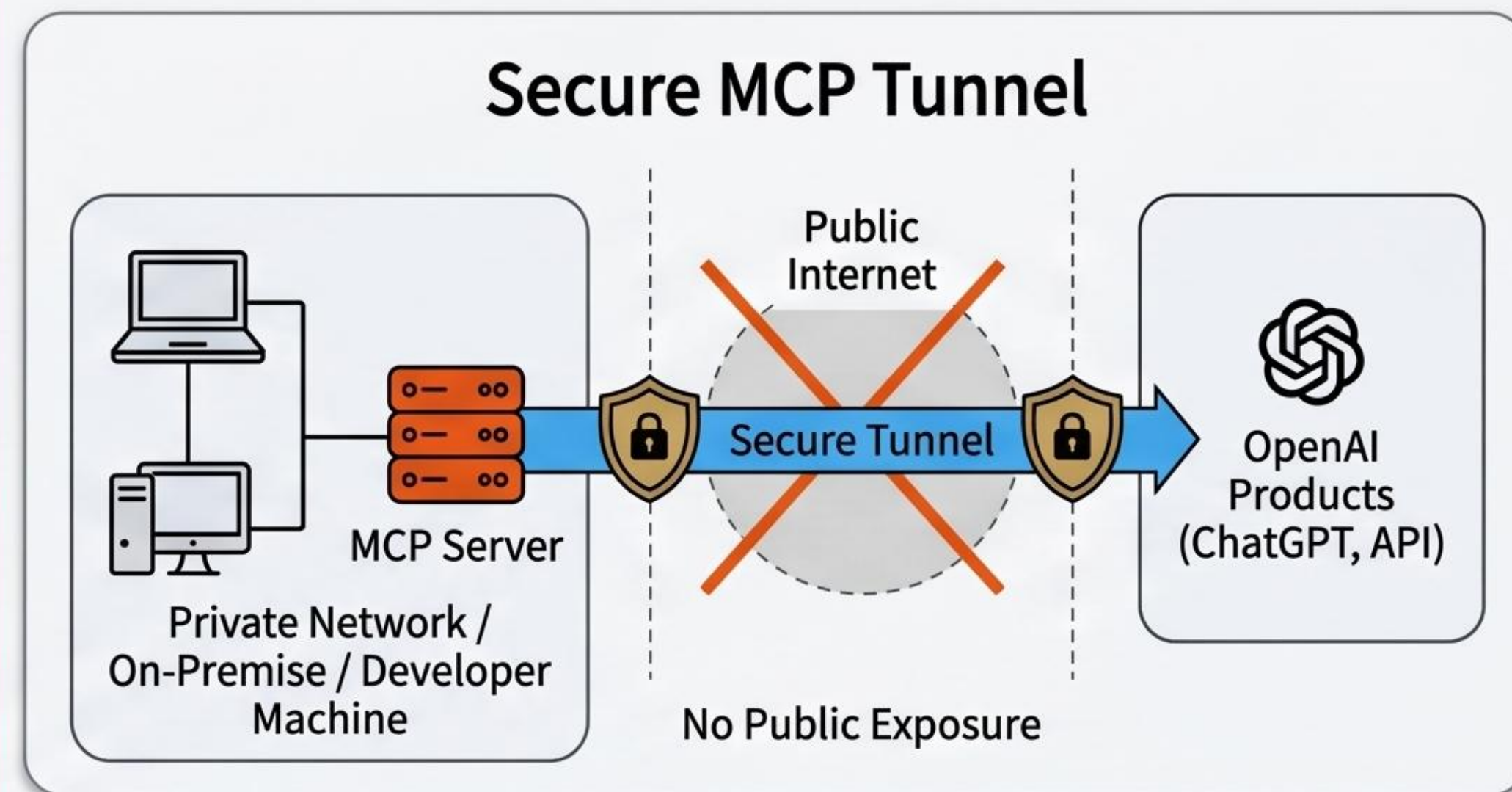
## 📌 主な変更点

- Enterprise / Edu の developer mode では非公開 MCP apps をアップロード・テストできる
- Secure MCP Tunnel により private MCP server を public exposure なしで接続できる
- Workload Identity Federation は OpenAI API platform に cloud-based identity を持ち込む方向の機能
- Admin API 拡張は enterprise が OpenAI projects を programmatic に管理する用途に効く

## 💡 なぜ重要？

Xでの反応: Private MCP 投稿は 1,300 likes 超で、企業が内部ネットワークの MCP を公開せずに使いたい需要の強さを示した。関連する WIF / Admin API 投稿は反応こそ小さいが、同じ enterprise governance の一連の動きとして出ている

[openai.com/dev...](https://openai.com/dev...)



**1377** ❤️ 内部ネットワークの MCP を公開せずに使いたい需要の強さを示した  
**LIKES**

## 🔍 何が起きた？

OpenAI は Thrive Holdings と共同で、Crete の会計士向け Tax AI を構築した事例を公開した。記事では、税務実務者の専門知識と Codex-driven loop を組み合わせ、eval-backed engineering systems で改善を本番投入前に検証する self-improving flow を説明している。

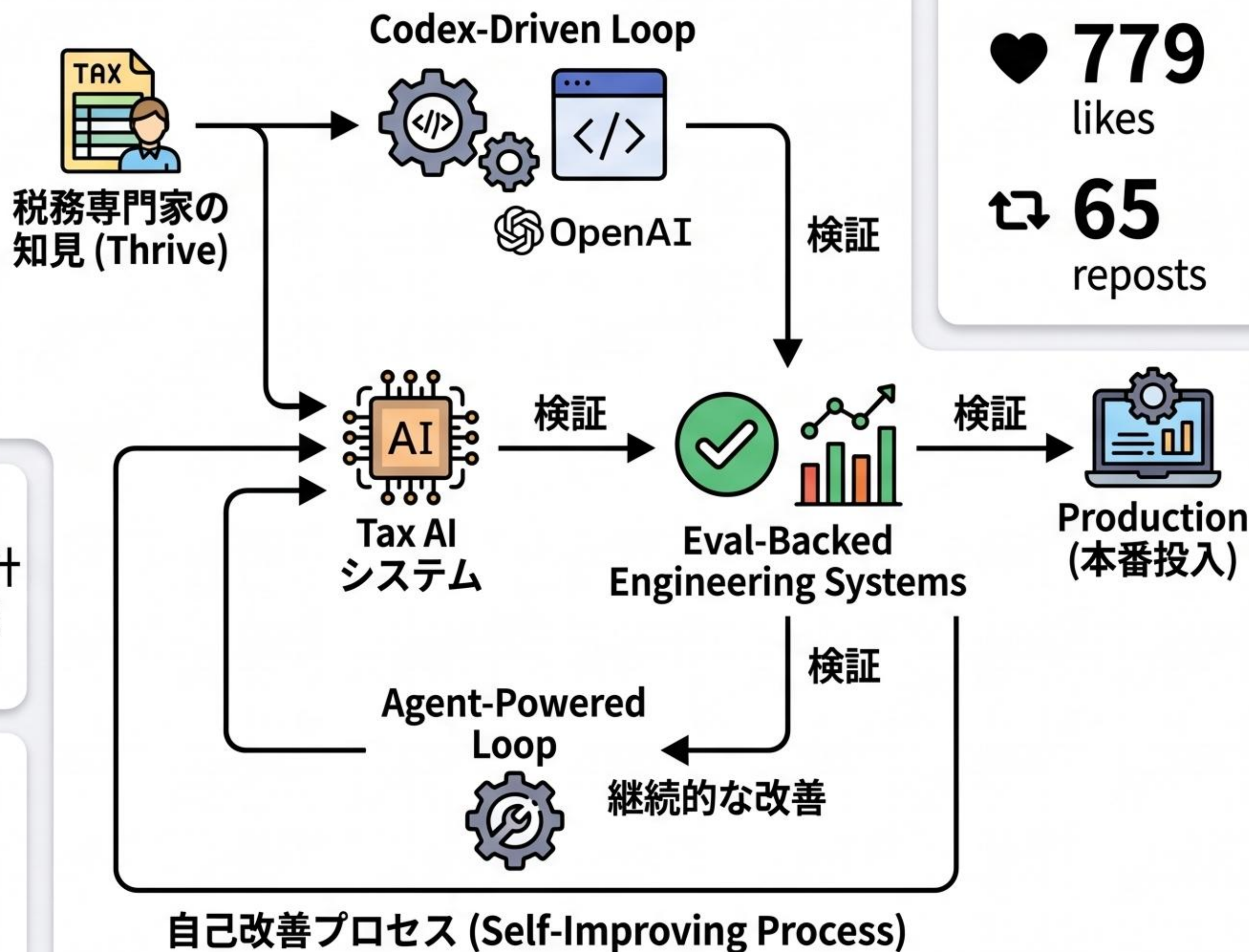
## 📌 主な変更点

- Tax AI は税務専門家の知見と Codex-driven loop を組み合わせて作られた
- 改善は eval-backed engineering systems で検証されてから production に入る
- agent-powered loop により、システムが継続的に改善される設計
- OpenAI と Thrive Holdings の enterprise AI adoption 文脈に接続する実装事例

## 💡 なぜ重要？

OpenAI Developers の投稿は 700 likes 超で、Codex を税務という専門業務に組み込む具体事例として注目された。実務レベルへの Codex 応用例として重要。

## 自己改善型 Tax AI フロー図



数値ハイライト  
: X での反応

♥️ 779 likes

🔄 65 reposts

## 🔍 何が起きた？

TechCrunch は、OpenRouter が CapitalG lead の Series B で \$113M を調達し、評価額が約 \$1.3B になったと報じた。

OpenRouter は複数モデルにアクセスする gateway / marketplace として機能し、AI 利用拡大に伴いインフラとしての評価を高めている。

## 📌 主な変更点

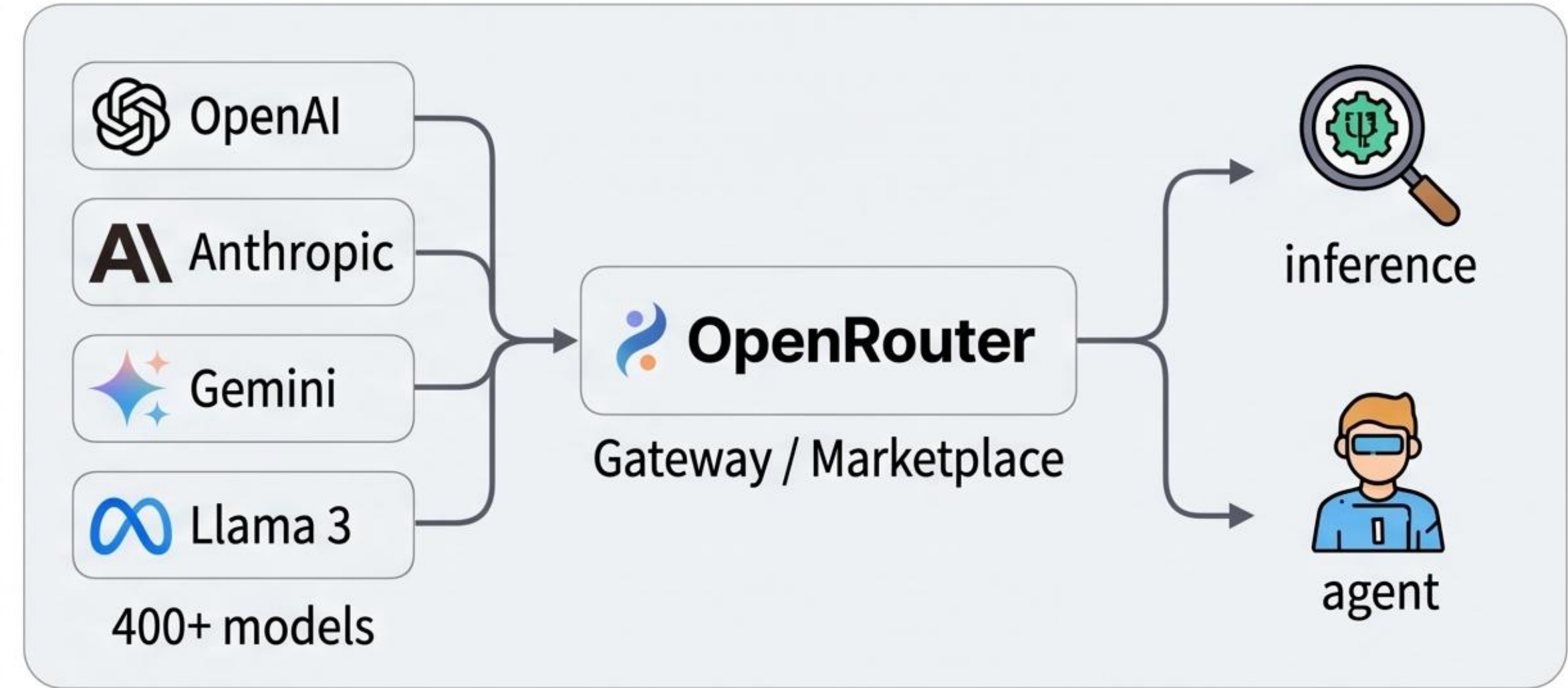
- 反応: 94 likes / 9 reposts
- 調達額は \$113M Series B、lead は Alphabet の growth fund である CapitalG
- New York Times 報道ベースで post-money valuation は約 \$1.3B
- 2025年6月の Series A 後の推定 \$547M valuation から約1年で2倍超
- OpenRouter は 400+ models を扱う gateway / marketplace として言及されている

## 💡 なぜ重要？

### Why it matters

資金調達規模と CapitalG lead という点が AI gateway 市場の成熟を示している。

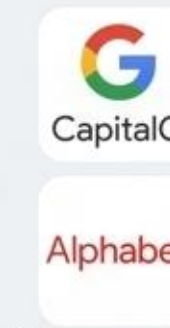
AI 利用が inference と agent に広がる中で、モデル横断レイヤーがインフラとして評価されている。



### A. Series B 資金調達

**\$113M**

Lead: CapitalG  
(Alphabet's growth fund)



### B. post-money valuation

**約 \$1.3B**

約1年で2倍超の成長

Series A 後 推定 \$547M → Series B 約 \$1.3B

### Xでの反応

資金調達規模と CapitalG lead という点が AI gateway 市場の成熟を示している。

94 likes / 9 reposts

## 💡 要点

farstep氏は、RDBでstatus、退会フラグ、論理削除フラグのような「状態」を上書き保存すると、いつ・なぜ状態が変わったかの事実が失われると整理した。

## 🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 状態は事実そのものではなく、出来事から導出される加工情報
- statusをUPDATEすると、停止・復帰・退会などの経緯が失われる
- 退会や公開停止はドメイン上の出来事であり、論理削除という業務用語ではない
- 代替案：イベントテーブル方式（出来事をINSERT）は履歴を残せるが、最新状態取得の性能設計が必要

## 🌱 なぜ刺さるか / 学び

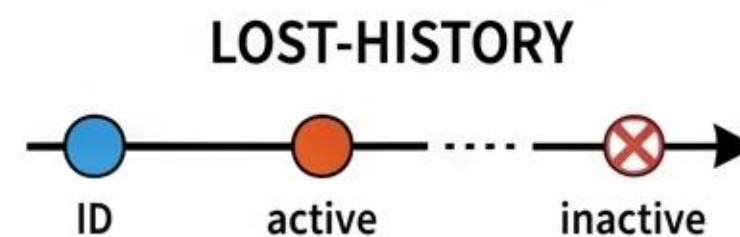
- 6,900 likes、8,100 bookmarks 超で、DB設計の基本論として大きく拡散。
- 実装経験者ほど、論理削除やstatus分岐の負債に心当たりがある反応が出やすいテーマ。

### 従来の設計（状態カラム上書き）

Users		
ID	name	status
1	username	active
2	username	inactive
3	ago	active
4	...	inactive

UPDATE

❌ WHY? ❌ WHEN?

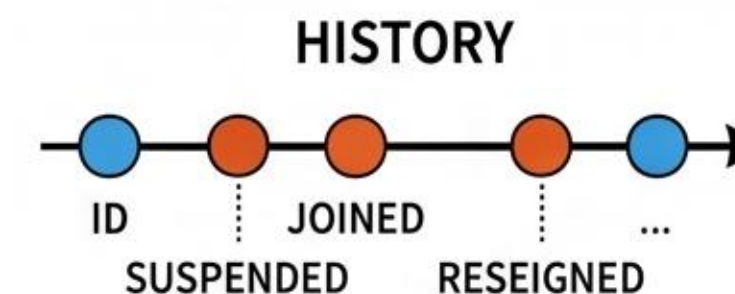


### 推奨する設計（出来事をINSERT）

Users		User Events			
ID	name	User ID	Event	Timestamp	Details
1	username	1	JOINED	2024-05-25	Joined J...
2	username	1	SUSPENDED	2024-03-25	Suspend...
3	...	2	RESUMED	2024-03-39	Suspend...
		3	RESIGNED	2024-03-29	Detailo...
		3	RESIGNED	2024-03-25	Resignat...

🕒 WHEN?

❓ WHY?



最新状態取得の性能設計が必要

## Xでの反応 / 反響

6,947 likes

1,112 reposts

8,146 bookmarks

3,345,049 views

## 🔑 要点

ベク氏は、NotebookLM の出力品質を上げるための実務 Tips として、出力の深度指定、参照ソースのドラッグ&ドロップ指定、チャット経由の Studio 起動、資料同士の比較、ノートのソース化を整理した。NotebookLM を単なる要約ツールではなく、資料比較や提案最適化まで行う調査基盤として扱内容になっている。

## 🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 「長く書いて」ではなく、見出し・引用元・網羅性など構造と粒度を指定する
- ソースが多い時は、対象ソースをチャット欄へドラッグ&ドロップして参照範囲を絞れる
- Studio 機能はボタンだけでなく、チャット指示からターゲットやトーンつきで起動できる
- 立場の違う資料を入れて矛盾点を洗い出す比較用途に向く

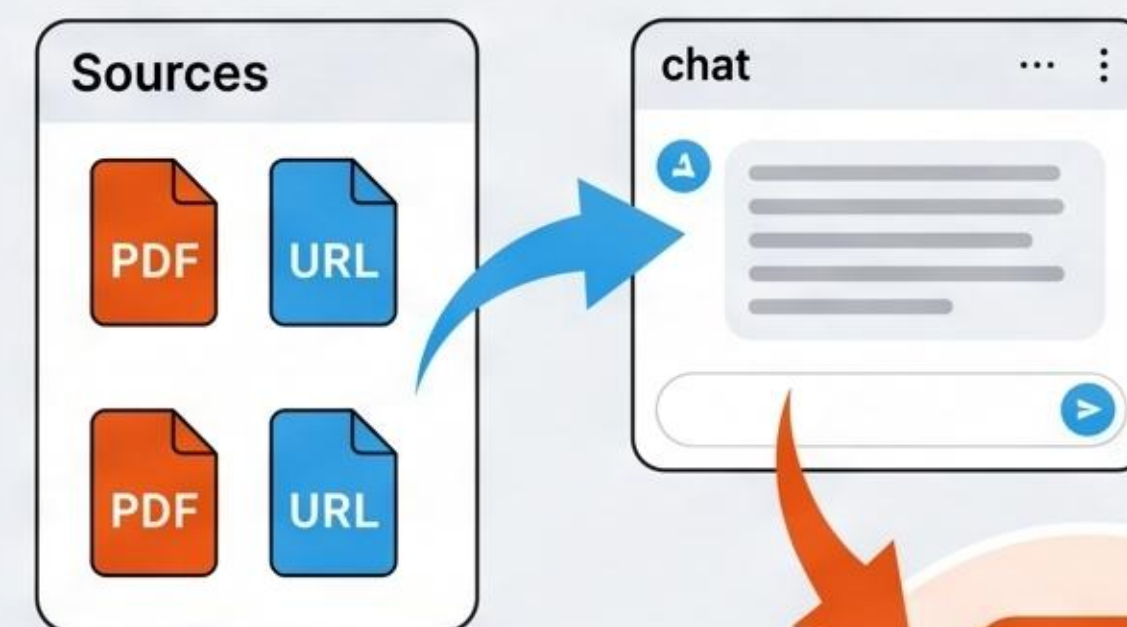
## 🌱 なぜ刺さるか / 学び

2,300 bookmarks 超で保存需要が高い。NotebookLM の見えない操作やプロンプト設計を知りたい実務ユーザーに刺さっている。

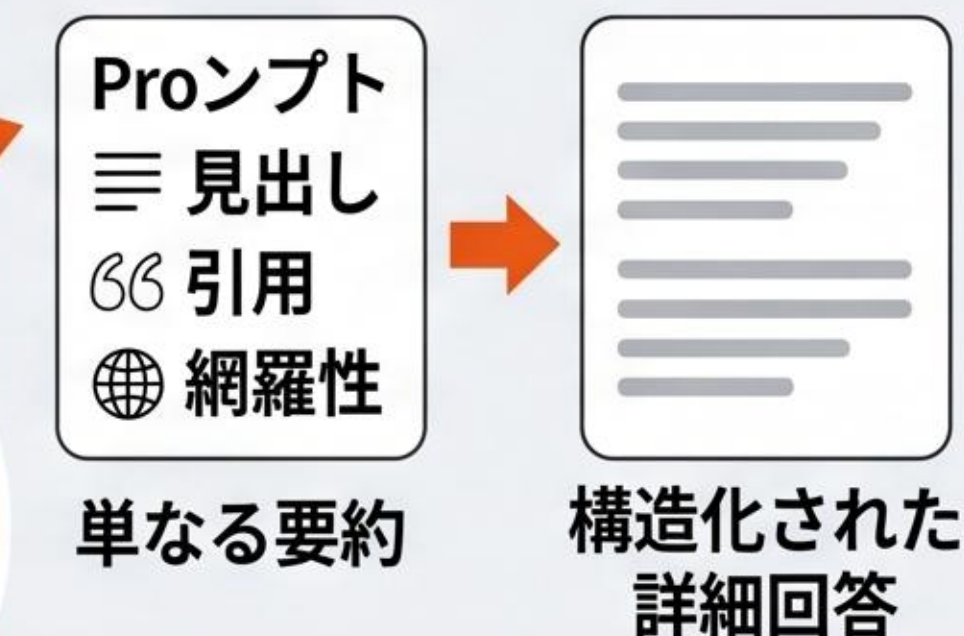
## NotebookLM を『調査基盤』へ

732 likes  
59 reposts  
503,751 views

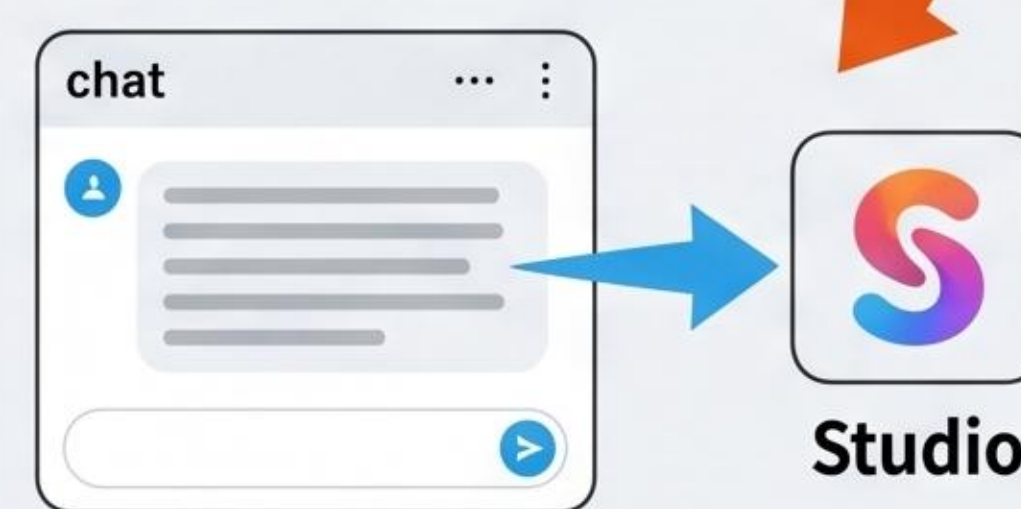
### ① 入力範囲の絞り込み



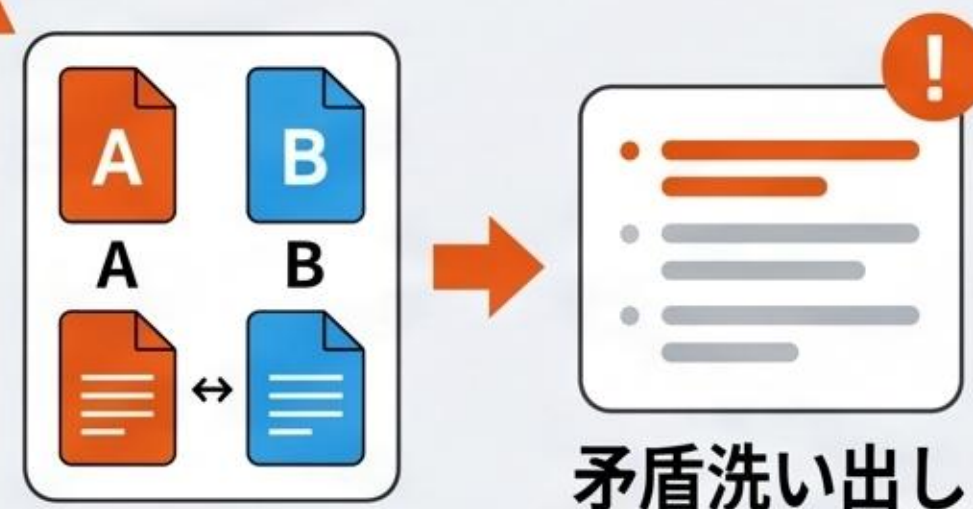
### ② 出力深度の調整



### ③ Studio機能の連携



### ④ 資料比較・矛盾抽出



## 🔦 要点

Shin氏は、AIに生成と自己評価を同じ文脈で同時に任せると、自分の直前の出力を肯定しやすくなると指摘。まず生成に集中させ、その後に別スレッド・別役割・別評価軸で厳しくレビューさせることで、前提ズレや根拠不足を見つけやすくなるという実務論。

## 🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 生成とレビューは思考の向きが反対で、人間でもAIでも同時実行に弱い
- レビュー時は新しい文脈で「第三者の厳しいレビュアー」として役割を与える
- 評価軸は怪しい前提、根拠の十分性、読者がつまづく箇所などを明示する
- 要件定義では、ユーザー発話という事実とAIが補った解釈の境界を引ける

## 🌱 なぜ刺さるか / 学び

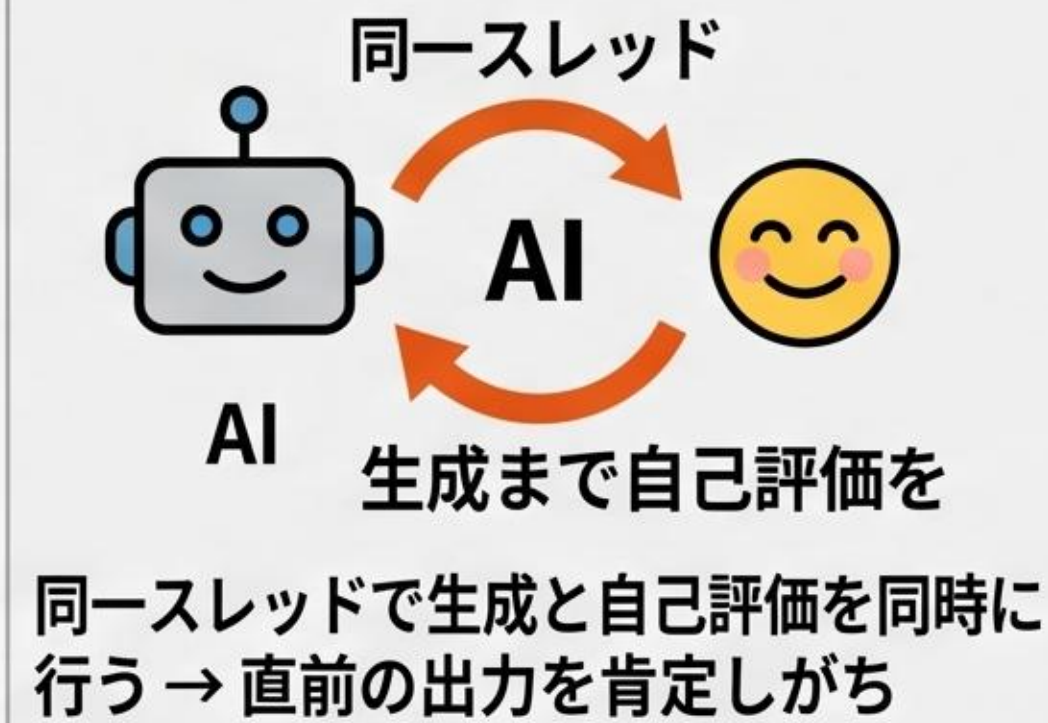
- Xでの反応：312 bookmarksと保存が多く、AI活用の実務習慣として受け止められている。
- プロダクト開発・採用・提案書など、レビュー観点が必要な仕事に横展開しやすい。

## X (旧Twitter) 反響

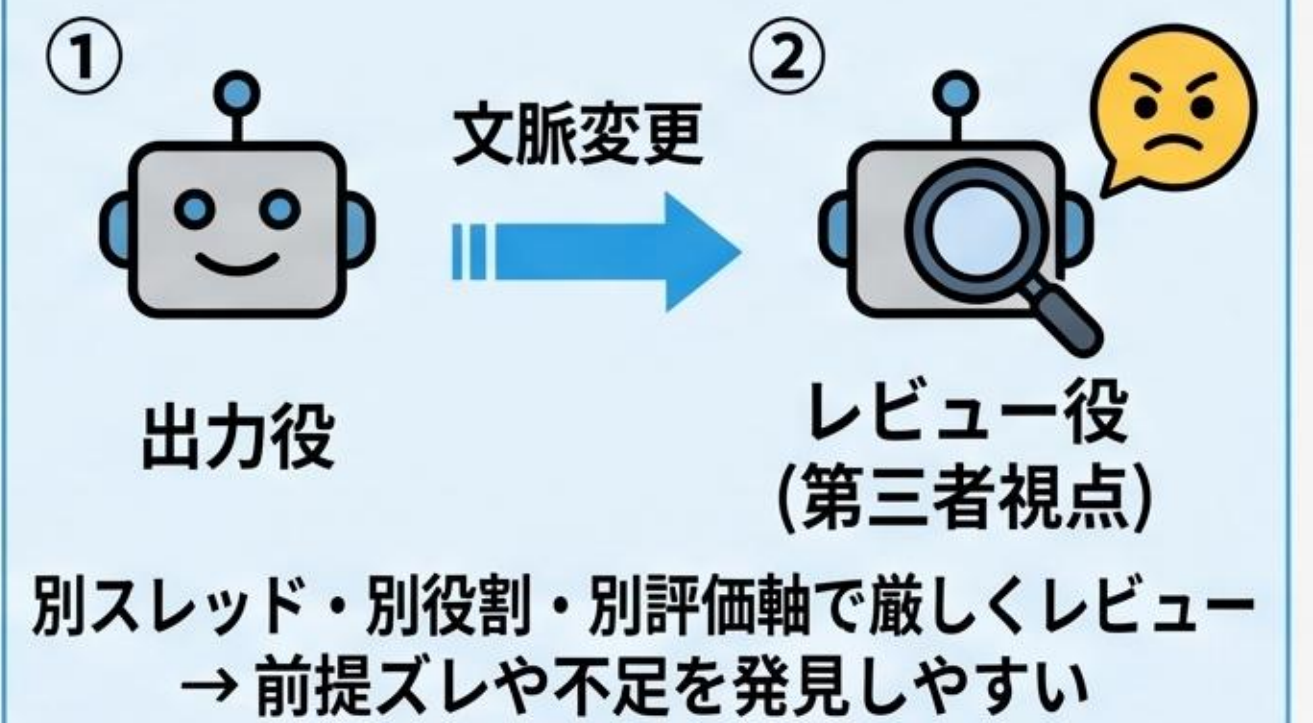
👁️ 119,043 views    ❤️ 159 likes    ↻ 12 reposts    📖 312 bookmarks

## 生成とレビューの分離

### 従来の手法 (同時実行)



### Shin氏推奨の手法 (分離実行)



### レビュー時の視点



### 要件定義での境界線

ユーザー発話 (事実)

AIの解釈



# coding agent を loop から作る OSS 教材が再注目

## 📌 要点

Dan Kornas が、ghuntley/how-to-build-a-coding-agent を「高レベルな説明ではなく loop から始める教材」として紹介。

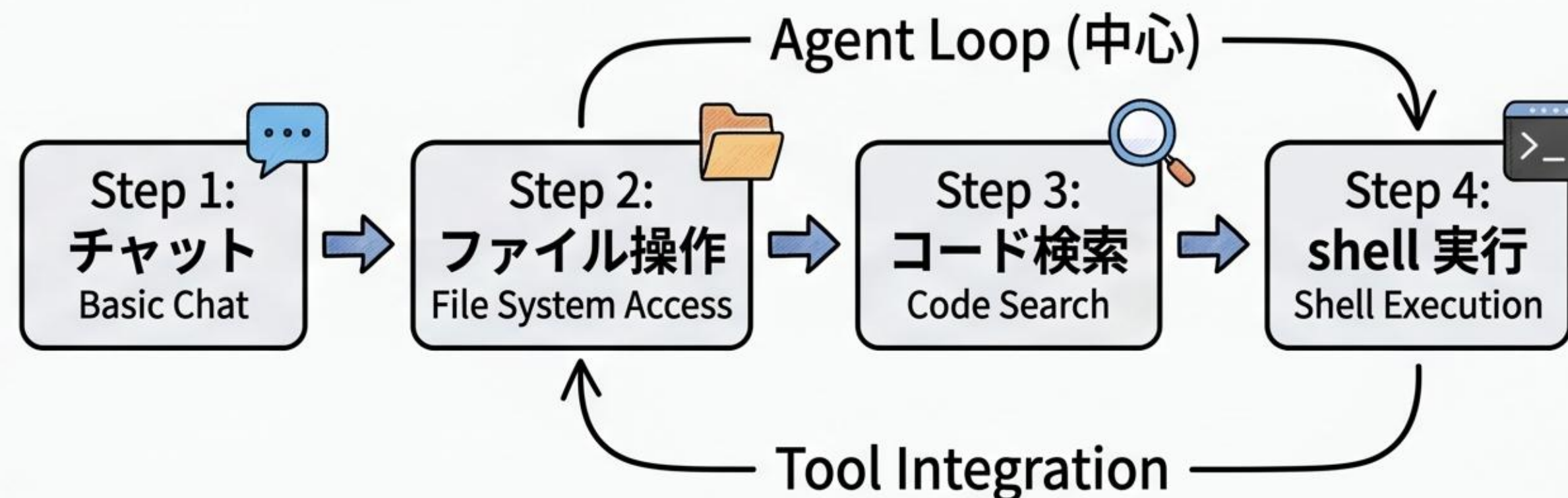
## 🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- リポジトリは Go と Claude API を採用
- チャットから段階的に以下の機能を構築する workshop:
  - ファイル操作 (File System Access)
  - コード検索
  - shell 実行
- 中心は agent loop, tool integration
- SourcePulse では 4,500+ stars、Trendshift では 5,600+ stars 規模として観測されている
- Roo Code、Cline、Amp、Cursor、Windsurf、OpenCode など既存 coding assistant の構造理解に使える

## 🌱 なぜ刺さるか / 学び

X 上の反応は小さいが、GitHub / SourcePulse / Trendshift では継続的に参照されており、agent harness を学ぶ実装教材として価値がある。

## 📋 Coding Agent Building Flow (段階的構築フロー)



## 📊 数字ハイライト

Stars:

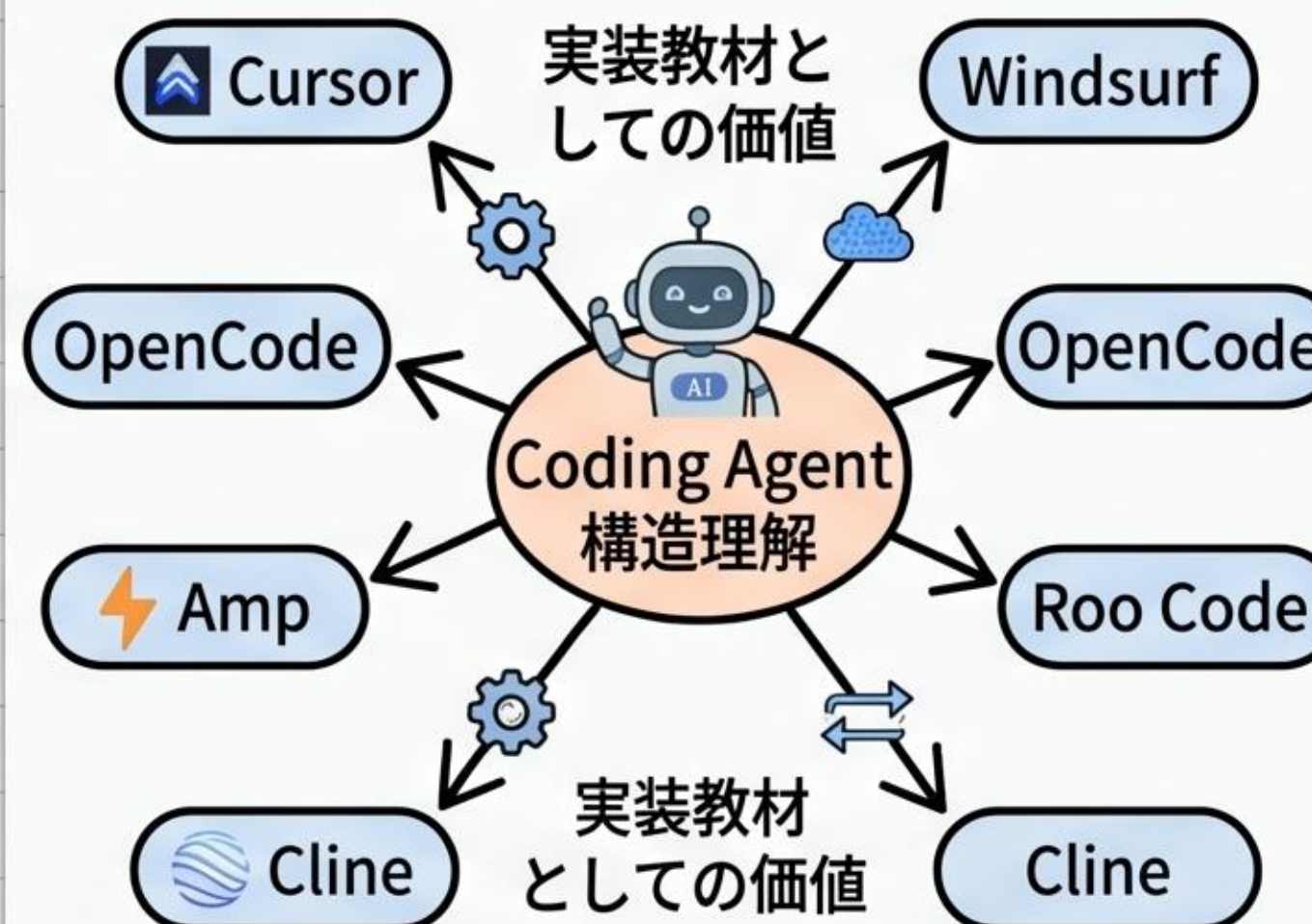
**4,500+**  
SourcePulse

**5,600+**  
Trendshift

Likes:

**27 likes**  
12 reposts

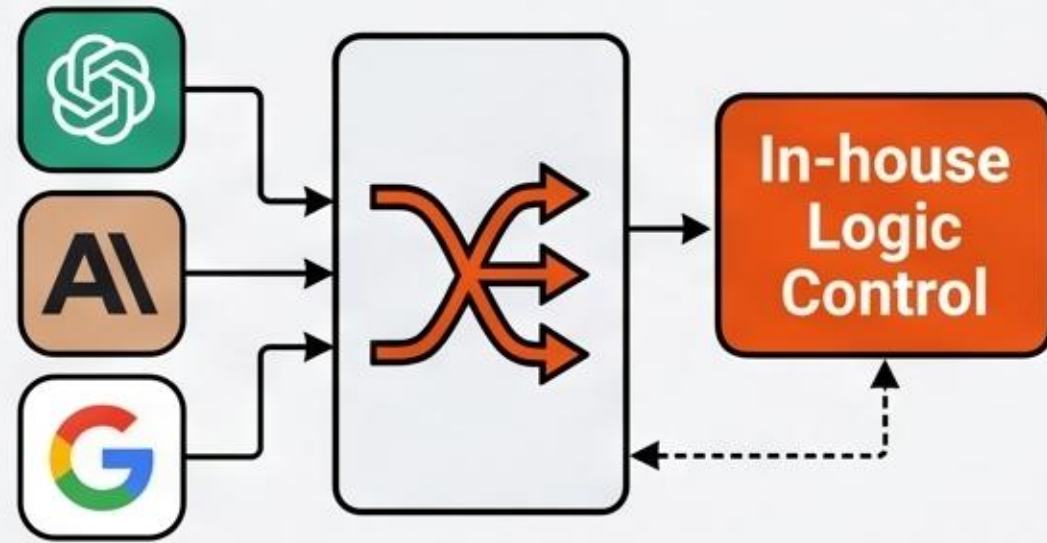
## 🔗 活用イメージ



# 本日のトピック一覧

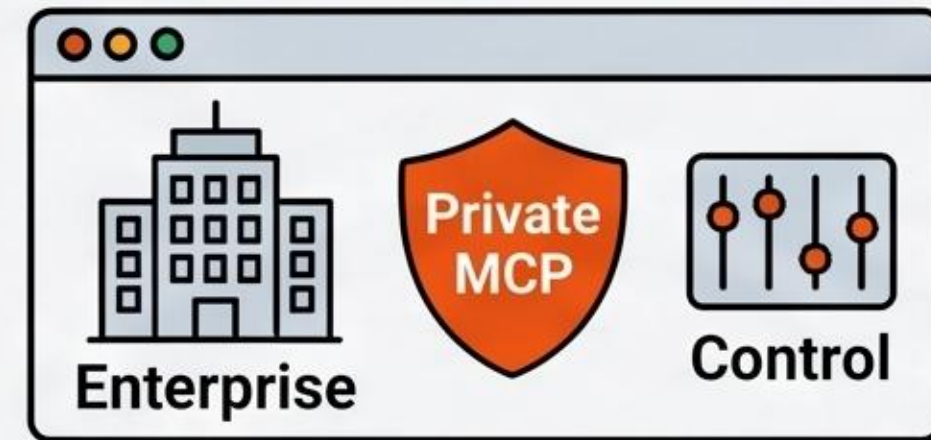
## 1 Merge Gateway:

LLMルーティングを  
自社ロジックで制御



## 2 OpenAI/Enterprise

Private MCP と  
enterprise 管理機能を拡張



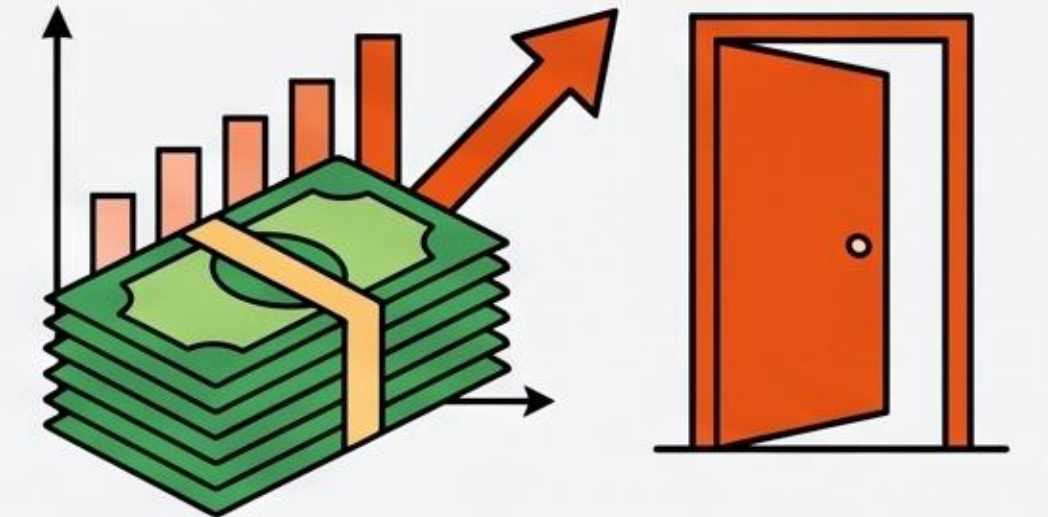
## 3 OpenAI / Thrive:

Codexで自己改善する  
Tax AI を構築



## 4 OpenRouter:

\$113M調達、AI gateway  
市場がユニコーン級へ



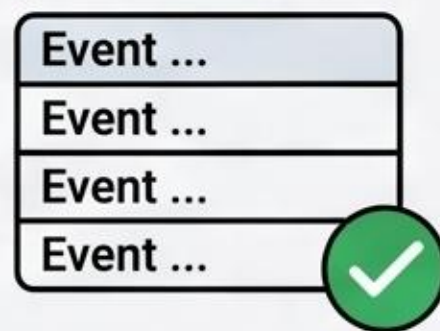
## 5 DB設計:

Before:  
Status Columns



VS

After:  
Event Log



DB設計: 状態カラムではなく  
出来事を保存する

## 6 NotebookLM:

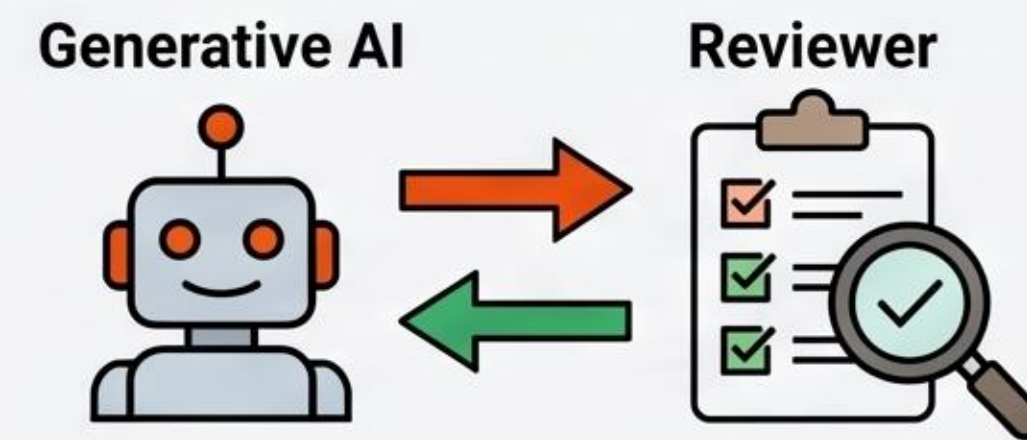
出力深度・参照範囲



NotebookLM: 出力深度・参照  
範・ノートソース化で化ける

## 7 AI活用:

出力役とレビュー役を分ける



AI活用:  
出力役とレビュー役を分ける

## 8 Coding Agent OSS



coding agent を loop から作る  
OSS 教材が再注目